

そのバブルは、 弾けにくい。

好きな情報だけに囲まれた生活は楽。
興味のない情報はいつでもシャットダウンできる。
時代は極端な選択をも可能にしました。
しかし産経新聞はあえて問いたいのです。
好みに囲まれた分厚いフィルターバブルの中で、
私たちはこれからも生き続けるべきなのか、と。
多様な世界から刺激を受ける。
時には目を背けたい真実も受け止めてみる。
あなたの周りにある課題と可能性に、
多くの記事を通して出会って欲しい。
それが新聞の役目だと私たちは考えます。
さ、今から行ってみませんか。バブルの外へ。

産経新聞

創刊
90周年
産経新聞